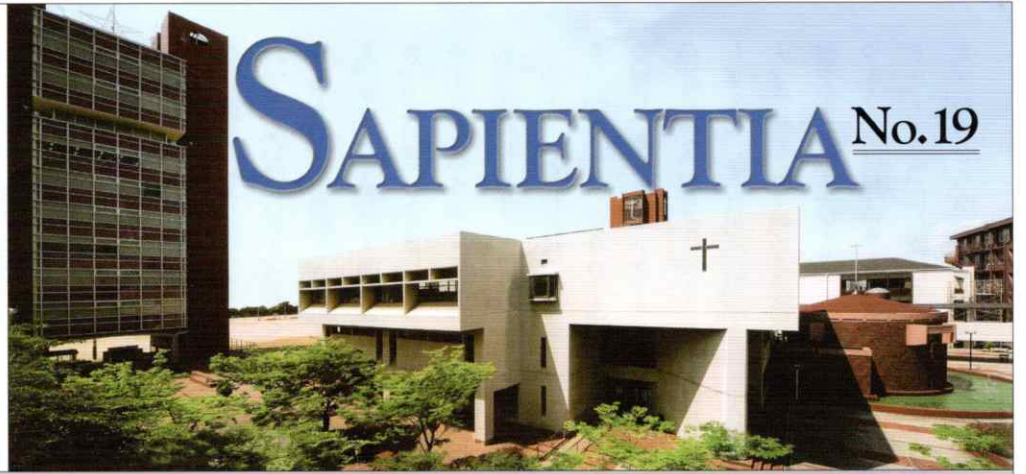




SAPIENTIA No.19



発行:聖トマス大学同窓会・サビエンチア会 〒661-8530 兵庫県尼崎市若王寺2-18-1 発行責任者/和田隆 編集/サビエンチア会

ご挨拶



サビエンチア会 会長
1980年
文学部イスパニア文学科卒
和田隆

私が仕事の関係で東京に赴任しまして早くも2年半になろうとしています。同窓会の本部に会長不在と云う状況をつくってしまったことを誠に申し訳なく思っています。しかし、同窓会の活動を停止するわけにはいきませんので本部内に会長代行として会計の藤本を任命させていただきました。この書面をもちまして会員の皆様のご理解をいただきます。存じます。

さて、私からは東京便りを致します。東京での同窓会活動は、支部長の永森さんを中心に役員が活動をしています。が、人材・資金不足は本部のみならず東京支部においても大きな課題であり、定例会も不定期になっております。参加者も年々減っているのも現状です。年一回の支部会は何とか開催していただいておりますが、参加者が年々減っているのが現状です。是非東京地区の卒業生の皆さん東京支部への参加をお願いします。

私が上京をした時に、同窓会会員の方々(先輩や後輩)と関わりを持たせていただいたことで癒しを頂きました。最近のトビックスとしては、東京支部の一員であった同窓生の神田瀧夢(ロム)さんが、アメリカの3大ネットワークの一つABCのリアルティートV(サバイバー)やアメリカンアイドルみたいなものですが、「I Survived A Japanese Game Show」の司会者として活躍されています。我が母校の出身者がアメリカで大活躍をされていることが誠に嬉しく誇りに思えたニュースです。是非皆さんも応援をしてください。

私たちの母校は創立50周年を迎えるにあたり益々発展していくためには同窓会の皆さんの協力や援助また、御子弟の入学などのサポートが必要です。母校も改革を続けられていきますので、サビエンチア会共々よろしくご願ひ申し上げます。

※関東支部連絡先メール(moniky8252@yahoo.co.jp)

Anniversary The 50th

めげせ開学50周年!!



サビエンチア会 会長代行
1973年
文学部イスパニア文学科卒
藤本滝三

会員の皆様には日頃より同窓会活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。和田会長が東京へ単身赴任されましたので、急遽会長代行を仰せつかりました。早速ではございますが、大学を取り巻く環境は、いまだかつて大変厳しい状況下に有ります。そんな中で小田学長をはじめ大学の教職員の方々の頑張りの元、大学開学50周年(2013年)に向けて大学内外の整備が成され様とされています。例えば一つの例として、阪急電車の大阪梅田駅前に、聖トマス大学の梅田キャンパスが2011年に出来上がります。そんな大きな計画が目白押しでございます。

詳しくは、同封させて頂きました大学発行の大学通信に掲載されていますので、ここでは割愛させて頂きます。我々サビエンチア会と致しましては母校の発展に寄与すべく、色んな方面からの協力をさせて頂きたいと考えております。50周年の2013年までの5年間を今からカウントダウンをし、毎年11月3日の大学祭(ホームカミングデー)を1年1年の区切りとして、50周年を祝う輪を広げてゆきたいと思っております。まず1年目の今年は、各クラブ・体育会系・文化会系・過去に存在したクラブ・現在も活動しているクラブの皆様の名簿を頼りに、各代表者の方々にお集まりいただきます。まずは、水面に小石を投げるところからのスタートとしたいと考えており、同窓会役員・サビエンチア会事務局を介して、それぞれのクラブまたはクラスの同窓会を、11月3日(祝)に大学校内グラウンド・部室・体育館又は教室において開催して頂きたいと思っております。皆様のご連絡を心よりお待ちしております。(詳しくは事務局まで)

大学を卒業されて5年目・10年目・15年目・20年目・25年目・30年目・35年目・40年目・45年目の方々……皆集まれ〜! 今年の2月10日には、1970年度卒の方々が還暦同窓会を開催されました。この方々が又11月3日に大学で集まろうと言っています。こんな輪がどんどん広がって来ればと思っております。5年後の50周年記念式典には、元氣な大学へ大挙して我々も元気に押し上げたいと思っております。皆様のご協力とご支援、心よりお願い申し上げます。

2008.11.3 (monday national holiday) 追悼ミサ・総会・ホームカミングデーのお知らせ

開催日 2008年11月3日(月・祝)
開催場所 聖トマス大学 コロクトリウム サビエンチエ (変更の場合は校門に掲示)

- ◆各クラブ・各クラス別同窓会 9:00~12:00 グランド・体育館・教室・etc.
- ◆教員・卒業生物故者追悼ミサ 12:00~12:45 コロクトリウム サビエンチエ
- ◆2007年度サビエンチア会総会 13:00~14:00 コロクトリウム サビエンチエ
- ◆ホームカミングデー 大上留利子ミニライブ/ピンゴゲーム大会 14:00~17:00 コロクトリウム サビエンチエ
- ◆キャンプファイヤー(大学祭実行委員会主催) 17:30~ 正面ステージ前

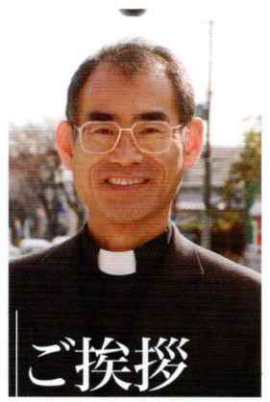
ゲームコーナーをご用意しております。お子さま・お孫さまも一緒にお越しください。

大上留利子プロフィール/文学部フランス文学科卒(1974年) 大阪府堺市出身のR&B歌手。「クィーン・オブ・ソウル」と称され、元祖ゴスペルシンガーの大御所的存在。泉州弁のトークも知られている。

総会議事内容

- 第1号議案 2007年度事業報告
- 第2号議案 2007年度決算報告
- 第3号議案 2008年度事業計画案
- 第4号議案 2008年度予算案
- 第5号議案 サビエンチア会役員変更について
- 報告事項 聖トマス大学同窓会・サビエンチア会関東支部 報告

ホームカミングデーにおきましては、参加費はすべて無料でございます。飲食に関しましては、それぞれのコーナーで実費とさせていただきます。お車でのご来場は駐車場の都合上ご遠慮をお願い致します。尚、お車で越しになられたとしても飲酒運転のないようくれぐれもお願い致します。



ご挨拶

聖トマス大学 学長
小田武彦

同窓生の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

ここ数年、入学定員800人以上の中・大規模私立大学では定員を二割以上多く入学させているのに対して、入学定員400人未満のほとんどの小規模私立大学が定員割れになっています。国立大学の入学定員超過率も110パーセント前後が続いているため、大規模私立大学では補助金を返上してでも定員を大幅に超える学生を集めようとしており、規模間の二極化が拡大し、小規模な私立大学は構造的に存続できない時代に入ったと言われています。入学定員250名という小規模私立大学である本学も例外ではありません。そこで学校法人英知学院は、「カトリック精神にもとづき、『真理にいたる英知と力をそなえ、自立した人間』を養成する」という創立以来の「建学の精神」を堅持しつつ、抜本的な改革に着手しました。

カトリック精神について知らなくともカトリックの大学だと分かるよう、2007年春に大学名を「聖トマス大学」に変更し、聖トマス・アキナス大学国際協議会(International Council of Universities of St. Thomas Aquinas)に加盟しました。その結果、協議会加盟大学への留学ならば留学先大学に授業料を納める必要がなくなりました。創立45年の蓄積を糧に、学生ひとり一人に世界市民の一員としての自覚が育つよう、全世界のカトリック大学との留学・研究交流のネットワークを強化し続けています。同年11月には全世界196大学からなる国際カトリック大学連合(International

Federation of Catholic Universities)に厳しい審査を乗り切って加盟し、2008年8月には東南・東アジアカトリック大学連盟(Association of Southeast and East Asian Catholic Colleges and Universities)にも加盟しました。

また2008年4月には、「共生」という現代社会の重要な課題に真つ正面から取り組むために「文学部」から「人間文化共生学部」に改組しました。基本的人権の保障、機会の均等などにおいて「あつてはならない違い」を解消し、少数者への権利の保障、多様なあり方や生き方の尊重など「なくてはならない違い」を保障し、平和な社会の創造に向けて協力して働く人間を養成しています。



ほとんどの同窓生の皆さまは尼崎キャンパス(尼崎市若王寺)で学ばれたことでしょうが、数年前より東京サテライト(千代田区平河町)

では宗文化教育専攻博士課程の講義が行われております。さらに新設されるカトリック大阪センター(北区豊崎)の2階全部を、カトリック大阪大司教区のご厚意によつて、2011年4月から梅田キャンパスとして使用させていただくことになりました。現在、これらのキャンパスやサテライトが立地する地域社会の経済的・社会的ニーズ調査や学位・資格授与科目との関係などの検討をしているところです。

皆さまの母校を存続させ、地球上どこにおいても誇りをもつて母校を語ることができるよう、教職員一同力を合わせてさまざまな改革を実施してまいります。成長し続ける英知学院聖トマス大学をどうか愛情もって見守り、ご支援くださいますようお願い申し上げます。

聖トマス(旧英知)大学

創立50周年記念事業準備委員会(仮称)
の立ち上げの紹介と参画へのお願い

我が大学も2007年4月に聖トマス・アキナス大学国際協議会(IC-USTA)に加盟し、同5月に大学名を「英知大学」から「聖トマス大学」に改称し、世界5大陸に広がる約40の関連大学と連携しながらグローバルな展開を模索、開始し始めました。英知大学は1963年に創設され、1993年に「開学30周年式典」を経て2013年(平成25年)には「大学創立50周年」をむかえるに至っております。

日本国内では、さらに少子化が進み全員大学入学時代へ突入し、大学経営もますます混迷の度を増す時代へと変化してゆきます。その現代社会の中で、我々カトリック大学としての原点に立ち返り「真理に至る英知と力をそなえ、自立した人間」を養成しつづける大学へと、これからも人間探求の道を歩み続けなければなりません。

今はまだ準備段階ではありますが、小田学長様のご発声で、事務局(大学学長事務室)の刈屋様、今年「還暦同窓会」を開催されました1970年

度卒の同窓生・サビエンチア会役員等、約20名弱で大学創立50周年記念事業準備委員会(仮称)をスタートし、2008年4月から毎月1回、梅田北野教会で2~3時間の会合を行っております。今後大学の教職員の方々と共に、記念事業内容、募金活動、連絡網の整備、各クラブのOB・OG会との連帯等々する仕事が満載で、幾らでもお手伝いくださる方が必要に成って参ります。永続的継承を願い、ひと肌脱ごうと思われる方、どしどしご応募お待ちしております。サビエンチア会事務局までご連絡いただければ幸いです。

野村 裕 (1974年 文学部英語英文科卒)

連絡先:

聖トマス大学同窓会・サビエンチア会事務局

〒661-8530

兵庫県尼崎市若王寺2丁目18番1号

TEL&FAX 06-6498-6258

取扱時間 毎週火曜日・午前10時~午後5時

E-Mail dousoukai@st.thomas.ac.jp

Toward
The 50th
Anniversary
of
The St. Thomas University

還暦同窓会 を振り返ってみて

2007年は英知の1970

年卒業生にとって大変重要な年でした。ちょうど満60歳の還暦という、人生の中の大きな節目でした。この同窓会を行おうと考えた切っ掛けは、高校時代からの友人からの還暦同窓会の招待状でした。5月3日、ホテル・ニューオータニでした。そして10月には小学校、中学校共催の還暦同窓会の招待状が届きました。小、中、高の友人たちが頑張ってくれたおかげでした。素晴らしい、懐かしい、楽しいひと時を過ごせました。

しかし英知からはなんの便りも来ませんでした。このままでは一生悔いを残すような気がしましたので、英知の友人たちに連絡したところ、気持ちよくOKしてくれました。そこで11月3日のホームカミングデーに会うことになり、その後4〜5回のミーティングの後に、晴れて2008年2月10日の還暦同窓会になった次第です。その中で私事ですが、大変奇跡的な出来事がありましたのでご報告させていただきます。

12月の初旬に主治医から突然手術が必要と宣告され、1月の7日に手術を行いました。これで同窓会の出席はかなわないと思い、手術前に同窓会へのメッセージを書いて伊藤



1970年
文学部
イスパニア文学科卒
木村慶次

君に託しました。ところが1月8日の真夜中の夢の中にアルバレス先生が出てこられて、私の主治医の先生に「セニョール木村を退院させてください」とお願いしてください、そして嘆願書を書いてその先生に渡してくださいました。朝になってなんとも言えない無言の不思議な、幸せな気分になりました。そのおかげをもって2月10日参加することが出来、友人たちと語り合うことができたのです。

同窓会では大変素晴らしい時間を持つことができました。学生時代しゃべらなかつた人たちとも、なんの抵抗も無く戦友の如くしゃべれました。色々なこの38年間の出来事を語り合いました。本当に時間があつという間に過ぎ去りました(この同窓会の内容は記念誌に詳しく書かれています)。これを機に参加者約40名は本当の親友になれたと思います。

素晴らしい経験でした。当日小田田学長様も参加して下さり、聖トマス大学の今後を熱く語ってくださいました。それゆえに我々幹事会も50周年のお手伝いをする事となりました。毎月第三水曜日に梅田北野教会に集まって2013年の祝賀プランを練っています。

最後に、英知大学の卒業生の人たちは本当に素晴らしい人たちが集まっておりました。38年後に同窓会をやってみて気がつきました。人生最大の節目に最高の想い出が作れたことに大変感謝しております。皆様有難うございました。

同窓会便り



聖トマス大学同窓会・サピエンチア会にある学年が同窓会を開かれる旨の案内がまいりました。そのある学年とは、1970年(昭和45年)卒業の方がたです。この卒業生の方はお気付きの方もおられると思いますが、現役で入学されていると、今年めでたく還暦を迎えられる世代の方がたです。

すでに、社会では現役を退かれて悠悠自適の方や、まだまだ現役でバリバリ活躍中の方もおられます。そんな方達が2008年2月10日(日)に「ホテルグランヴィア大阪」で還暦同窓会を行われました。遠くは海外(ドイツ在住)からの参加者もあり、カトリック大学らしく帰天同窓生への祈りで始まり、本当に和やかな同窓会でした。

卒業後40年近くも連絡を取り続けられ、旧交を温めておられる事に関心すると共に、これぞ少人数制の大学の良さだと思いました。

学校側からは小田田彦学長がご列席、当、聖トマス

大学同窓会・サピエンチア会からは、受付のお手伝い、旧英知大学GOODSの販売、ご寄付のお願いに上がりました。

会の最後には、「来年からは、毎年集まろう」という声が上がリ、来年からは更なる参加者の増加も見込めるようです。団塊の世代が大量退職されるこれから、これをお読みの皆様もこの様な同窓会をされてみませんか? サピエンチア会では、このような同窓会を応援しております。受付等のお手伝い、毎年11月3日に行われる「ホームカミングデー」での同窓会も応援しております。もし、これからご計画のお有りになるクラス・クラブの方は、聖トマス大学同窓会・サピエンチア会にご一報いただければ幸いです。

地村昭彦(1989年 文学部フランス語フランス文学科卒)



please
contact us,
SAPIENTIA

Information

ホームステイ(里親)先の募集!!

聖トマス大学は世界の5大陸に約40校の関連大学と連携いたしております。色んな国から、肌の色の違う・言葉・習慣の違う方々が頻繁にお越しに成られます。そして学内にも外国人の先生方や中国人留学生の方々が、祖国を遠く離れて勉強をして居られます。

そんな方々に、日本の一般的な家庭や習慣や日常を知って頂き、また家庭の温かさを久しぶりに味わって頂けるよう、現役学生、同窓生のご家庭の中で里親候補に登録して頂きたく、ご案内をさせて頂きました。

1週間や10日間でもいいよ...と言う方から、1泊か2泊ならいいよと言って頂ける方まで、中広く募集させて頂いております。受け入れて頂けるご家庭を登録させて頂き、ご来訪される折に事前打ち合わせをし、調整をさせて頂きまします。宜しくお申し込み頂けます。ご不明点のお問い合わせ、ご登録は、サピエンチア会事務局 宇野まで。

聖トマス大学 ボランティアセンターを通じて

地震・雷・火事・親父は昔から恐れられたものです。親父が怖かった時代は終焉を告げたみたいですが、その分、台風や竜巻と言った天災が猛威を振るつてきております。ミャンマーのサイクロン、オリンピックを控えた中国で四川の大地震等の大災害...。地球温暖化の表われでしょうか、年々その規模の拡大、数の増加が気になるようです。

聖トマス大学でもボランティアセンターが開設され、色んな不自由をされている方々に向けて活動をしておられます。サピエンチア会としても、今回の2つの災害に付いて何か出来る事は有りませんかと大学に打診しましたところ、義援金が一番である事を確認し、早速ボランティアセンターに出向き、義援金を手渡しさせて頂きました。

又、その四川大地震の直後には、今度は日本で宮城・岩手内陸地震が発生いたしました。50周年記念事業の会合の席上で、ボランティアセンターのお話をさせて頂き、その場で有志の方々からご寄付を頂き、その場に居られました小田学長の方に、即お渡しさせて頂きました。ここに「ご報告をさせて頂きます。有難うございました。」

サピエンチア会のご紹介

はじめまして。1987年9月、英語英文科卒業の宇野路浩と申します。数々の偶然が重なり、縁あって2007年の9月からこのサピエンチア会事務局のお手伝いをさせて頂いていただくことになり、おおかた1年が過ぎました。

春季、夏季、冬季と急な場合を除き、通常は毎週火曜日の午前10時から午後5時まで研究棟1階エレベータ前の同窓会室に詰めて「母校発信の一助となれば...」と思い、名簿整理のお手伝いをしております。

ご自身の住所変更や勤務先変更、ご結婚やご出産、同窓生の友人知人の情報などなど、同窓生に関する情報と同窓生に対する意見等をどしどしお寄せください。お待ちしております。

宇野路浩(1987年文学部英語英文科卒)

◎連絡先

聖トマス大学同窓会・サピエンチア会事務局
〒661-8530
兵庫県尼崎市若王寺2丁目18番1号
Tel & Fax 06-6498-6258
取扱時間/毎週火曜日 午前10時~午後5時
E-mail:dousoukai@st.thomas.ac.jp
URL://www.st.thomas.ac.jp/dousoukai/



編集後記

今回の会報は大学からのピックアップもあり、記事に事欠かない状況でした。目標・目的がはっきりしておれば、こんなにもスムーズに進むものかと思いました。毎回こうでありたいと思います。大学の意気込み・同窓会の意気込みが紙面に溢れ、それぞれが良く似た内容になっているかも知れません。この11月3日には是非、是非大学にお越し頂き、その意気込みを直に感じて頂きたいと思っております。

尚、今回会報作成にあたり、寄稿して頂きました皆様には感謝申し上げます。しかし記事が集まり過ぎて掲載しきれない物も出てきました。次号には必ず掲載させて頂きましますので大切に保管させて頂きます。有難うございました。

では! 11月3日、コロクトリウムでお会い致しましょう!

各クラブ・同好会のOB・OGの皆さんへ

11月3日は“全員集合”

各クラブの代表の方々よりコメントを頂戴しています。

その他のクラブの方々も11月3日の大学祭の日に同窓会(OB・OG会)をしませんか? 会場はご用意いたします。聖トマス大学同窓会・サピエンチア会事務局までご相談下さい。



軟式テニス部

斉田隆文

1977年卒

11月3日HCDの際に現役とのOB戦を行います。OB戦後は親睦会を行います。



軽音楽部

橋本(旧田代)梢

1970年卒

軽音OBの皆様、'98年以来「けいおん会」(軽音OB会)は休戦中ですが、そろそろ昔の仲間会にいたくなっているのでは? まずは11月3日のホームカミングデーで集まりませんか!



ユースホステル同好会

黄瀬末吉

1975年卒

11月3日の大学祭に是非集合して下さい。大いに大学時代の話を楽しみましょう。



バドミントン部

宮崎信雄

1975年卒

バドミントン部OB、OGのみならず! 11月3日OB戦を企画していますので、ぜひご参加ください。



応援団

藤川英明

1987年卒

一日タイムスリップしましょう!



カトリック研究会

越知清司

1978年卒

1970年代のカトリック研及びカトリック研友の会のOB・OGの方、11月2日夜に六甲セミナーハウスで大河内明先輩の還暦祝いをいたします。集合して下さい。次の日、集まった全員でHCDに参加しましょう。



空手道部

大下正孝

1979年卒

11月3日のホームカミングデーの日OB会も兼ねて久しぶりに集合しませんか? 一時間ほど一緒に練習しても楽しそうですし、その後の飲み会もきっと楽しいですよ!



サッカー部

泉 啓太

1977年卒

体育会系クラブの存亡の危機に我々OBが立ち上がり、我々青春の軌跡を消さぬよう大集合!



ワンダーフォーゲル部

藤本 滝三

1973年卒

「いつかある日」の歌...大学祭で皆さんと大きな声で歌いたいと思います。場所をセッティングして皆さんにご連絡いたしますので宜しくお願い致します。



演劇部

高田(旧中川)久子

1978年卒

演劇部OB・OGのみならず! 11月3日のHCDの日久しぶりに集まりましょう! 懐かしい母校グラウンドに向かって発声練習でもして、日頃のうづぶんを晴らすのも面白いかな!